

フレやまぐち!

ハンドボール王国山口を
牽引する

山口銀行 YMGUTS



山口県はハンドボール王国と呼ばれるほど強豪高校が多く、インターハイで好成績を残すなど毎年優秀な選手を輩出しています。しかし、その選手達は高校を卒業すると引退するか活躍の場を求めて県外に旅立っていく人が大半でした。このような中、山口県的女子ハンドボール競技者の受け皿として誕生したのが「山口銀行YMGUTS(以下、YMGUTS)」です。1952年結成の「徳山クラブ」女子チームの運営を引継ぎ、2018年4月から周南市を拠点に活動しています。チームのユニフォームは山口銀行の緑と山口を象徴する夏みかんカラーのオレンジが使われています。またメンバーのほとんどが山口県出身者で、まさに山口県のハンドボールを盛り上げるために生まれた

チームです。

地元のメンバーが中心のため、飛び抜けたエースが居ない分、全員で走って、全員で守る全員プレーが特徴。2020年4月から「大崎オーソール」(大崎電気)でゴールキーパーとして活躍した周南市出身の東佑三氏を監督に迎え、その年の日本ハンドボール選手権中国地区大会を見事優勝。全国大会へ出場してベスト16に輝きました。また、今年に入って日本ハンドボールリーグの下部組織である「チャレンジ・ディビジョン」で、3年目にして悲願の初優勝を遂げ、上り調子のYMGUTS。今後の活躍に期待しましょう。



知っ得ポイント

YMGUTSの LINEアカウント運営中!

YMGUTSを身近なチームとして感じてもらえるよう、たくさんの情報を発信しています。YMGUTSを通じて一緒に地域を盛り上げましょう!登録よろしくお祈いします。

発信内容

- 試合情報
- イベント情報
- 出張GUTS
(地域貢献活動や
ハンドボール教室)



チームデータ

- チーム名:山口銀行YMGUTS
- ホームタウン:山口県(周南市)
- 所在地:山口県周南市桜馬場通1-1
- 種別:ハンドボール
- 参加リーグ:日本ハンドボール選手権ほか
- 創立:2018年4月
- 公式サイト:<https://www.yamaguchibank.co.jp/portal/special/ymguts/>

文豪山口



人生の応援歌を書き続けた
日本歌謡界を
代表する作詞家

星野哲郎



荒牧万佐行 撮影

「アンコ椿は恋の花」、「三百六十五歩のマーチ」、「男はつらいよ」、「風雪ながれ旅」、「兄弟船」、「みだれ髪」など、日本人なら一度は聞いたことのある人生の応援歌を数多く作詞したのが星野哲郎氏です。

大正14年、周防大島に生まれました。開導小学校、安下庄中学校(現・周防大島高校)を経て、子供の頃からの憧れだった高級船員を目指して高等商船学校(現・東京海洋大学)へ。卒業後、日魯漁業(現・マルハニチロ)の遠洋漁業の乗組員となりますが、わずか2年で病気のため下船しました。闘病中に始めた文芸誌への投稿が、作詞家としての新たな人生を踏み出すきっかけとなりました。昭和27年の雑誌「平凡」の歌謡詩コンクール入選を機に、その後は同人誌「新歌謡界」に投稿を続け、昭和32年の横浜開港100周年の歌募集で1,2位に当選し、審査員だった船村徹氏に勧められ上京し、昭和33年に日本コロムビアと専属契約。同時に遠縁の朱實さんという伴侶を得て、作詞家活動に邁進しました。日本クラウンの専属を経て、フリーとなり、創作した作品は約3000作。数多くのヒット曲を生み出しました。

また、ふるさと周防大島へ寄せる思いも強く、昭和63年から13回にわたって主宰した「全日本えん歌蚤の市」のうち、8回を島で催しました。平成19年には星野哲郎記念館がオープン。平成22年に85歳で亡くなるまで、ふるさととの深い関係はつづきました。



星野哲郎記念館

〒742-2512
山口県大島郡周防大島町
平野417-11
TEL:0820-78-0365